

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 6 巻第 27 号

第 27 週 (7 月 3 日 ~ 7 月 9 日)

発行年月日:平成18年(2006年) 7月 14日

発行 行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3050 FAX 077-537-5548

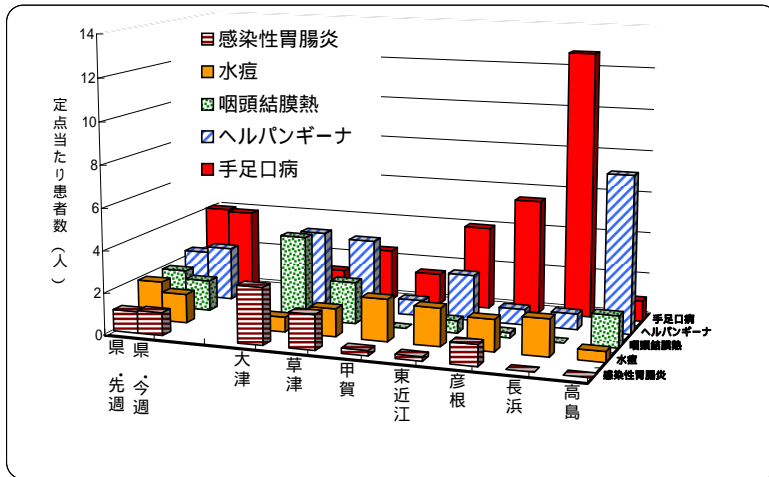
今週の感染症発生動向

手足口病の発生は6週ぶりに微減 滋賀県における全数報告感染症の概要(平成18年第1~27週)

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週(6月26日~7月2日)の報告数より少なくなっており、増加した疾患は感染性胃腸炎、伝染性紅斑(リンゴ病)およびヘルパンギーナです。他の疾患については減少または変化なしとなっています(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

全数把握対象疾患では、四類感染症のA型肝炎1名の届出がありました。

上位5疾患の保健所管内別発生状況(定点把握対象五類感染症、第27週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおりで、手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱、水痘、感染性胃腸炎の順に多くなっています。

手足口病は先週に引き続き長浜で非常に多くなっており、彦根においても急増しています。

滋賀県における全数報告感染症の概要(平成18年第1~27週)

感染症類型	疾患名	1~22週の累積報告数	23~27週の報告年月日	概 要		
				菌種、血清型等	推定感染地域	推定感染源(原因)・感染経路等
二類感染症	報告なし	0				
二類感染症	細菌性赤痢	2 ^(*)	報告なし			
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	5	H18.6.8 H18.6.12 H18.6.13 H18.6.20 H18.6.20 H18.6.20 H18.6.20 H18.6.21	血清型:O26 産性毒素型:VT1(+) 血清型:O26 産性毒素型:VT1(+) 血清型:O26 産性毒素型:VT1(+) 血清型:O157 産性毒素型:VT2(+) 血清型:O157 産性毒素型:VT2(+) 血清型:O157 産性毒素型:VT2(+) 血清型:O157 産性毒素型:VT2(+) 血清型:O157 産性毒素型:VT2(+)	日本国内 日本国内 日本国内 日本国内 日本国内 日本国内 日本国内 日本国内	経口感染生の牛肉 経口感染接触感染 経口感染接触感染 経口感染 経口感染 経口感染 経口感染 経口感染
四類感染症	A型肝炎	1	H18.7.3		日本国内	経口感染
	レジオネラ症	4	H18.6.6		日本国内	宿泊先の温泉
五類感染症	アメーバ赤痢	4	H18.6.28		日本国内	不明
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	報告なし			
	後天性免疫不全症候群	5	H18.6.5 H18.6.27	無症候性キャリア 無症候性キャリア	ベトナム ブラジル	同性間性的接触 不明
	ジアルジア症	0	H18.6.9		インド	経口感染
	梅毒	2	H18.6.26	早期顕症梅毒	日本国内	同性間性的接触
	急性脳炎	1	報告なし			

(*) 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知による

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (27週)	累積報告数		平成17年報告数	
			滋賀 (27週)	全国 (27週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	細菌性赤痢	0	^{(*)2} 2	212	^{(*)3} 7	556
	腸チフス	0	0	43	0	50
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	13	984	12	3,567
四類感染症	E型肝炎	0	0	36	0	40
	A型肝炎	1	2	217	1	168
	オウム病	0	0	15	1	34
	デング熱	0	0	21	1	73
	マラリア	0	0	29	0	66
	レジオネラ症	0	5	205	3	276
五類感染症	アメーバ赤痢	0	5	352	5	680
	ウイルス性肝炎	0	0	124	2	277
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	86	2	147
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	4	73	0	60
	後天性免疫不全症候群	0	7	629	7	1,161
	ジアルジア症	0	1	45	0	81
	梅毒	0	3	312	0	555
	破傷風	0	0	45	0	114
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	38	2	65
	急性脳炎	0	1	94	2	180

*1: 平成17年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

*3: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分3件を含みます。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第27週(7/3～7/9) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: A型肝炎 2例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 12例
二類感染症: 細菌性赤痢 3例	レジオネラ症 9例	劇症型溶血性
コレラ 5例	つつが虫病 5例	レンサ球菌感染症 2例
パラチフス 1例	日本紅斑熱 2例	ウイルス性肝炎 2例
三類感染症: 腸管出血性	五類感染症: 破傷風 3例	クリプトスポリジウム症 1例
大腸菌感染症 105例	アメーバ赤痢 10例	急性脳炎 2例
四類感染症: デング熱 1例	梅毒 9例	クロイツフェルト・ヤコブ病 3例
マラリア 2例		

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間に単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(第22週～27週、5/29～7/9)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	22週		23週		24週		25週		26週		27週	
	(5/29～)	(6/5～)	(6/12～)	(6/19～)	(6/26～)	(7/3～)	23	24	25	26	27	
インフルエンザ	1.21	0.71	0.80	0.16	0.26	0.06						
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0						
咽頭結膜熱	1.44	1.91	1.88	1.72	1.88	1.47						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.97	1.72	1.69	1.22	1.28	1.06						
感染性胃腸炎	3.63	2.66	2.31	1.50	1.03	1.09						
水痘	3.09	2.84	2.47	2.47	1.88	1.38						
手足口病	0.56	0.88	1.38	2.41	4.00	3.91						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.78	0.53	0.66	0.44	0.53	0.75						
突発性発しん	0.31	0.59	0.41	0.38	0.44	0.25						
百日咳	0	0	0	0	0	0						
風しん(三日はしか)	0	0.03	0.03	0.03	0	0						
ヘルパンギーナ	0.53	0.97	1.13	1.94	2.28	2.56						
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0.03	0	0	0						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.84	0.66	0.53	0.88	0.72	0.72						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	0.57	0.14	0.29	0.57	1.00	0.71						
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0						
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0						
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						
成人麻しん	0	0	0	0	0	0						

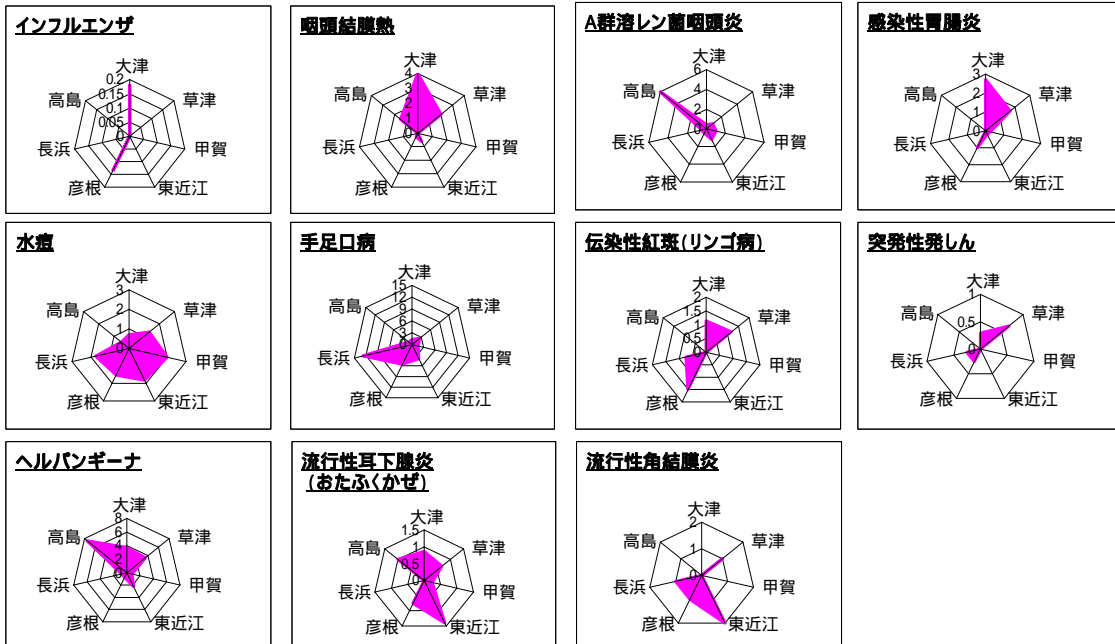
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第27週、7/3~7/9)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.06	0.18	0	0	0	0.14	0	0	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	1.47	4.00	2.00	0	0.60	0.25	0	1.50	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.06	0.43	0.83	1.00	1.20	0.50	0.50	6.00	
感染性胃腸炎	1.09	2.71	1.67	0.25	0.20	1.00	0	0	
水痘	1.38	0.71	1.33	2.00	1.80	1.50	1.75	0.50	
手足口病	3.91	1.29	2.50	1.50	4.00	5.50	12.75	1.00	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.75	1.14	1.17	0	0	1.50	0.75	0	
突発性発しん	0.25	0.29	0.67	0	0	0.25	0.25	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	2.56	3.71	3.50	0.75	2.20	0.75	0.75	7.50	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.72	0.86	0.67	0.25	1.40	0.75	0	1.00	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.71	0	1.00	0	2.00	1.00	1.00	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

— は定点当たり患者数が先週より増加、— は定点当たり患者数が非常に多い状態

0 1 2 3 4
定点当たり患者数(人)

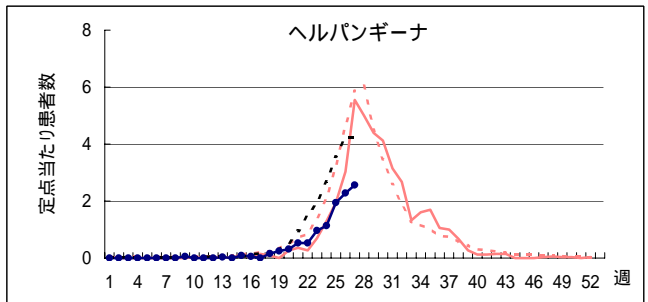
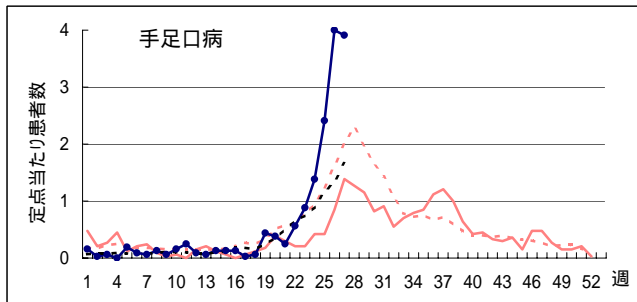
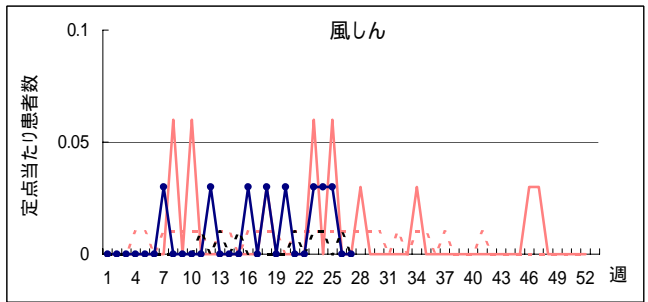
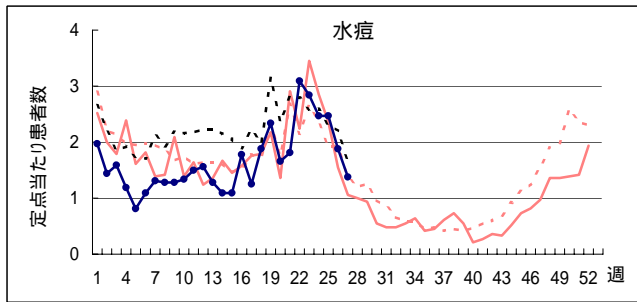
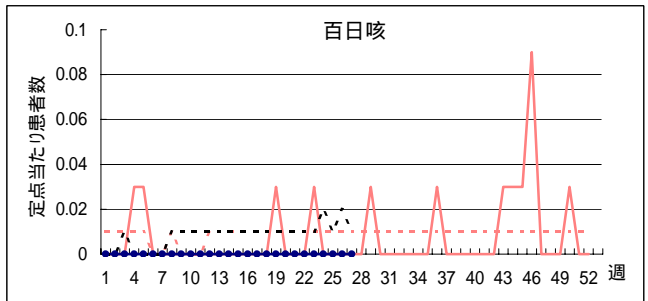
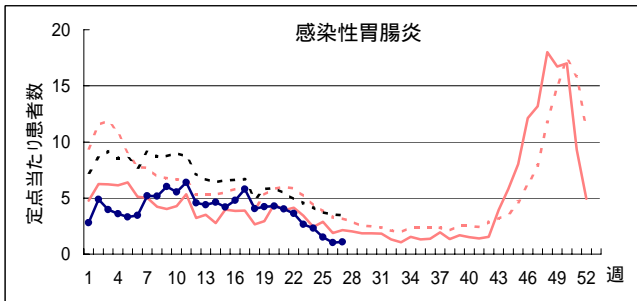
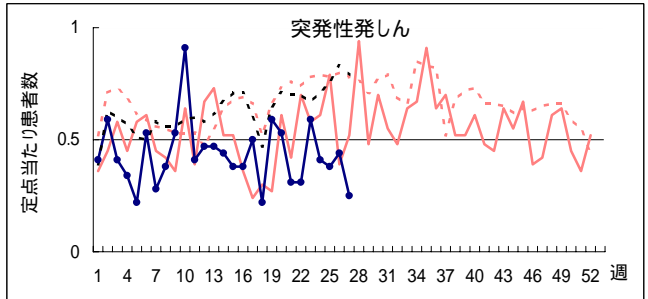
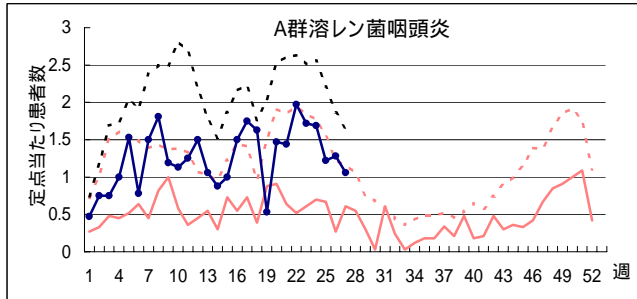
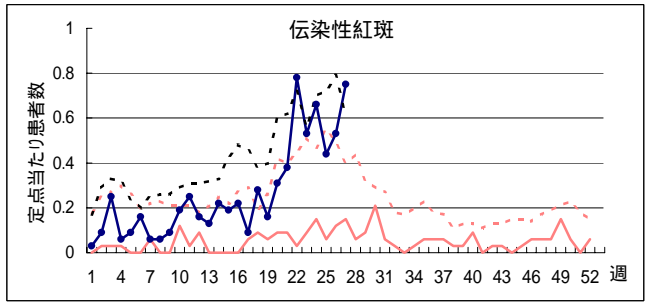
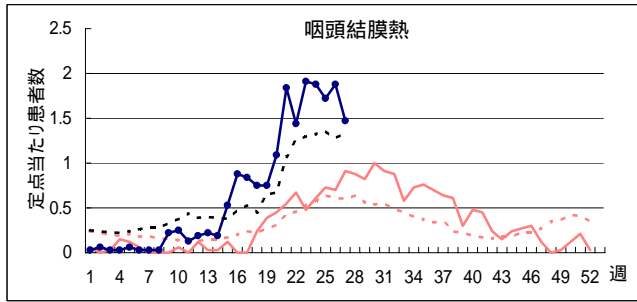
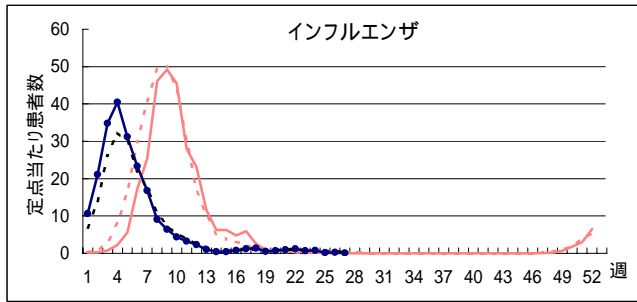
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況：保健所管内別定点当たり患者数

- インフルエンザ-----先週多かった東近江市においても減少し、県全体の定点当たり患者数は0.06となり先週よりかなり少なくなっています。
- 咽頭結膜熱-----県全体では先週より減少していますが、特に大津では非常に多い状態が続いています。
- A群溶レン菌咽頭炎----高島では4週連続して非常に多い状態が続いています。
- 感染性胃腸炎-----先週とほぼ同様の発生状況ですが、大津でやや多くなっています。
- 水痘-----県全体では先週よりやや減少していますが、甲賀、東近江および高島で先週より多くなっています。
- 手足口病-----県全体では先週よりやや減少していますが、彦根、長浜および高島で先週より増加しており、特に長浜では第22週以降連続して増加しています。
- 伝染性紅斑-----第20週(5/15~5/21)以降増加傾向を示し、昨年同時期の定点当たり患者数よりかなり多くなっています。
- 突発性発しん-----大津以外では先週とほぼ同様または減少となっています。
- ヘルパンギーナ-----大津、草津および高島で多くなっており、高島では急増しています。
- 流行性耳下腺炎-----東近江で先週よりかなり多くなっています。
- 流行性角結膜炎-----草津、東近江、彦根および長浜から報告されています。

疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第27週、H18.1.2～H18.7.9)



疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第27週、H18.1.2～H18.7.9)

H17 { 滋賀 ————
全国 - - - - -

H18 { 滋賀 ●——●
全国

